

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市北部身体障害者福祉会館及びわーくす高津	評価対象年度	令和4年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 育桜福祉会 ・代表者名 理事長 萩原 利昌 ・住所 中原区西加瀬10-3	評価者	障害者施設指導課長
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害者施設指導課

2. 事業実績

利用実績	<p>【北身館】</p> <p>〔講習会・ボランティア育成事業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話入門講習会(昼) 全7回 受講者12名 ・拡大写本入門講習会 全6回 受講者9名 ・音声訳入門講習会 全5回 受講者 8名 ・手話入門講習会(夜) 全7回 受講者16名 ・点字入門講習会 全5回 受講者6名 ・視覚障害者理解講習会「見えないってどんなこと」 全2回 親子9組 等 <p>〔作業室〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在籍数:生活介護 21名(定員20名) ※令和5年3月31日 <p>【わーくす高津】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在籍数:就労継続B 27名(定員30名) ※令和5年3月31日 																																																				
収支実績	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">身障会館・作業室全体 (円)</th> <th colspan="2">わーくす高津 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>82,935,235</td> <td>収入</td> <td>46,660,452</td> </tr> <tr> <td> 委託料</td> <td>31,354,000</td> <td> 給付費</td> <td>38,659,418</td> </tr> <tr> <td> 給付費</td> <td>48,647,983</td> <td> 就労支援事業</td> <td>4,323,232</td> </tr> <tr> <td> 利用料</td> <td>1,273,626</td> <td> その他</td> <td>3,677,802</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>1,659,626</td> <td>支出</td> <td>47,011,210</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>77,854,708</td> <td> 人件費</td> <td>36,296,970</td> </tr> <tr> <td> 人件費</td> <td>58,688,811</td> <td> 事務費</td> <td>2,305,719</td> </tr> <tr> <td> 事務費</td> <td>4,178,440</td> <td> 事業費</td> <td>3,864,318</td> </tr> <tr> <td> 事業費</td> <td>4,749,609</td> <td> 就労支援事業</td> <td>4,323,232</td> </tr> <tr> <td> 事務局経費</td> <td>5,000,000</td> <td> その他</td> <td>220,971</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>5,237,848</td> <td>差額</td> <td>▲ 350,758</td> </tr> <tr> <td>差額</td> <td>5,080,527</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	身障会館・作業室全体 (円)		わーくす高津 (円)		収入	82,935,235	収入	46,660,452	委託料	31,354,000	給付費	38,659,418	給付費	48,647,983	就労支援事業	4,323,232	利用料	1,273,626	その他	3,677,802	その他	1,659,626	支出	47,011,210	支出	77,854,708	人件費	36,296,970	人件費	58,688,811	事務費	2,305,719	事務費	4,178,440	事業費	3,864,318	事業費	4,749,609	就労支援事業	4,323,232	事務局経費	5,000,000	その他	220,971	その他	5,237,848	差額	▲ 350,758	差額	5,080,527		
身障会館・作業室全体 (円)		わーくす高津 (円)																																																			
収入	82,935,235	収入	46,660,452																																																		
委託料	31,354,000	給付費	38,659,418																																																		
給付費	48,647,983	就労支援事業	4,323,232																																																		
利用料	1,273,626	その他	3,677,802																																																		
その他	1,659,626	支出	47,011,210																																																		
支出	77,854,708	人件費	36,296,970																																																		
人件費	58,688,811	事務費	2,305,719																																																		
事務費	4,178,440	事業費	3,864,318																																																		
事業費	4,749,609	就労支援事業	4,323,232																																																		
事務局経費	5,000,000	その他	220,971																																																		
その他	5,237,848	差額	▲ 350,758																																																		
差額	5,080,527																																																				
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に基づき、ご本人への支援が適切に行われているかを2回のモニタリングを通して達成度や満足度を確認するとともに個別支援計画は、利用者にとって「前向きなもの」「主体性を持って取り組めるもの」となるよう、特にストレングスに焦点をあて、アセスメントを基に検討し、全利用者(ご要望に応じて家族及び支援関係者同席)に個別で説明を行い、同意に基づく形で進めた。 ・利用者からの意見、要望については、意見箱を設置することで意見の言いやすい環境を設定しているとともに利用者満足度調査を実施し挙がってきた意見や要望については改善に向けて必要なアプローチを随時行っている。 																																																				

3. 評価 (評価段階:5~1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
	(評価の理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・会館では、会館の利用団体の活動内容やメンバー募集等のポスターを、外の掲示板に掲示することで会館での活動を地域に向け周知するとともに、手話入門講習会をはじめとする講習会を開催し、障害者福祉の啓発普及及びボランティアの育成に努めた。 ・わーくすでは、一人ひとりの想いに沿った生活スタイルの実現に向け、半日外出、井田体育館等のプログラムを実施し、グループごとの話し合いの場面を多く持ち、生活課題のある方には、相談支援センターと連携し、グループホーム等の情報提供を行った。 			

収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 会計監査人監査を実施し、計算関係書類監査、財産目録に関する意見が主であるが、年間を通じた内部統制の評価や拠点の往査も行っている。 					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画は利用者にとって「主体性をもって取り組めるものとなるよう検討を行い、サービス向上への取組みを行った。 コロナ禍の影響で販売会の機会は限られたが、情報収集を行い、あざみ野市民ギャラリーや手をつなぐフェスティバルに参加しただけ販売会の機会を作った。また利用者の個々の能力に応じ、活動の幅を広げるなど、サービス向上に向けて取り組んでいる。 苦情、要望について、各部屋に意見箱を設置していること、口頭の場合では、記録を取り、対応、報告を行い、また、苦情解決第三者委員を活用するなど、サービスの質の向上に取り組んでいる。その他、利用者満足度調査等の活用により利用者からの意見・要望を広く受け止め、集計結果については、会館入口等に掲示、公表し、業務の改善につなげている。 					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災委員会で訓練内容を検討し各防災役割の機能確認や、利用者の避難誘導の手順を確認するとともに非常時に備えた自衛策の周知徹底のために地震、火災、洪水予測による垂直避難等さまざまな状況を想定した防災訓練を実施した。 「ヒヤリハット・事故発生と事後対応マニュアル」「危機対応マニュアル」の内容に基づき、改善と意識向上のため、毎日の職員会議時に報告し、全職員に認識を共有することで、事故発生防止に取り組んでいる。また内部研修だけでなく、オンラインで外部の研修にも参加し、職員のスキルアップに取り組んだ。 コンプライアンスについて、個人情報保護を含めた各種諸規定を整備し、適切な運用が為されている。 					

適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	4	4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) ・建物の老朽化による修繕の対応が遅れ安全が損なわれることがないよう、建物及び付属設備の安全点検とメンテナンスを年間計画に基づき実施した。 ・備品等については、作業担当職員が計画的に整備、整頓、補充を行った。					

4. その他加点

分類	項目	着眼点			評価点
その他加点	市の政策課題への取組	第三者へ一部の業務委託を行う際の市内中小企業者の受注機会の確保・拡大や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組への協力、障害者の法定雇用率を越える雇用などを行っているか			0
	(評価の理由)				

5. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E/標準:C/A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満

A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・わーくすでは施設外作業や就労体験に積極的に参加するとともに工賃向上を目指し、単価を意識した新規作業の開拓等により、平均工賃1万円を確保した点が評価できる。
・作業室において販売会にできるだけ参加し、販売機会の創出に努めた。また福祉用具や住宅改修が必要な方には、関係機関と調整の上、サービスを導入し、通所事業所としての機能だけでなく、利用者の生活全般のサポートを行う等、利用者の要望に対して迅速かつ適切に対応するとともに、利用者の支援を適切かつ十分に行っている点が評価できる。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・引き続き、各事業において質の高いサービスを提供し、障害者の自立と社会参加の促進が実現されるように取り組んでいくこと。